



旭山記念公園情報2021年5月

●噴水運転停止中

噴水は、コロナ禍の状況を鑑み、ライトアップも含め当面運転を停止します。ご了承ください。

●第2駐車場一部立入制限

擁壁崩落場所の土留めのため、南側の列の駐車スペースが当面利用できなくなっております。

バードリスニングのすすめ

野鳥観察は「見る」だけではなく「聴く」ことも大切であり楽しみでもあります。

今回はそんな「バードリスニング」についてのお話です。



キビタキは森いちばんの歌い手

◎「囀り(さえずり)」と「地鳴き(じなき)」・・・「囀り」は雄が繁殖期にのみ出すきれいな鳴き声で、雌へのアピール、縄張りの主張、敵の目を逸らす、といった役割があります。「地鳴き」は季節を問わず種内や種間でのコミュニケーションに用いられる短くて地味な声です。

◎どこで鳴くか?・・・鳥は種により生活する環境が異なるため、声が聞こえて来る場所も違います。木のてっぺん、真ん中辺、下の方、根元、笹藪、地面、飛びながら、など、どこから聞こえるかを把握すれば、そこにどんな鳥がいるか見当つけやすくなります。

◎鳴き声の「声質」・・・囀りはフレーズとして覚えることもありますが、鳥による「声質」の違いを意識するのも覚えるコツです。人間でも人により声が違うのと同じです。

◎カタカナの鳴き声・・・例えば地鳴きで同じ「チッ」と書いてあっても、シメのそれは「チッ」と「シッ」の間くらいに聞こえ、一方アオジはほぼ「チッ」の通りに聞こえます。ヤブサメの地鳴きも「チュッ」と「ジュッ」を同時に発音するような人間には出せない音に聞こえます。また、ヤマガラ甲高い地鳴きは「ニィニィニィ」「ビィビィビィ」「ツーツーツー」とまったく違うカタカナで表されるなど、人間の言葉とカナだけでは表しきれない音もあります。

◎音に反応する・・・鳴き声で鳥が分かりたい。それには、とにかく鳥の鳴き声に反応することです。意識していないだけで、実は結構多くの鳥が鳴いています。当たり前ですが、声での識別は、音を意識して気づくことから始まります。

◎分からなくても音を楽しむ・・・何の鳥の声か分からなくても、声がたくさん聞こえるとそれだけで楽しいものです。声がたくさん聞こえるだけ、たくさんの鳥や動物たちがいるということです。



ウグイスの「ホーホケキョ」は有名

旭山通信 ～レストハウスより 2021年5月

この度、旭山記念公園レストハウスの運営を、NPO 法人手と手が運営させていただき事となりました。

店名を旭山記念公園レストハウス「ぽるく」として、4月24日オープンしました。「ぽるく」は、「小道」という意味があります。森の中の小道をイメージした店舗で、カフェスペースとショップスペースがあり、森や木、花など旭山記念公園の自然の豊かさをテーマにした作りとなっています。

カフェスペースでは、西興部のソフトクリー夢や手作り弁当、軽食、飲み物などを提供します。

ショップスペースでは、北海道内の作家さんの素敵な作品や様々な雑貨、みのり彩園の自然栽培の商品を販売しています。

皆様に愛される
店舗になるように
頑張っていきます。
よろしくお願い
致します！



旭山野鳥メモ②⑥ ノゴマ

ノゴマ Siberian Rubythroat *Calliope calliope* スズメ目ヒタキ科

夏鳥。高山帯、高原、草原、湿地などで繁殖し旭山で見られるのは5月の通過時のみだが毎年1、2日見られ、去年は数日間滞在した。

スズメより少し大きくがっしりとした体つき。英名「シベリアのルビー色の喉」の通り雄の赤い喉がとにかく印象的。雌の喉は赤くなく、地味というよりは全体的にこれといった特徴がない色合い。

コマドリのようにきれいに鳴き野原にいることから名前が「野の駒鳥」で「野駒」。旭山で聞くことはないがその囀りは声量豊かであつまるやかな響き。育雛期に入ると雌も巣の周りなどで囀ることがある。

札幌近郊では東屯田川遊水地、茨戸川緑地公園、はまなすの公園など主に草原環境で繁殖しているが中山峠にもいる。旭岳ロープウェイで登るとノゴマ天国で花の時期にはハイマツでよく見られ盛んに轉る。

北海道で繁殖し旭山で毎年春と(か)秋の通過時だけ見られる鳥は意外と多く、他にルリビタキ、ベニマシコ、ビンズイ、クロジ、コマドリ、エゾムシクイ、ニュウナイスズメなど。前2者以外は1～5日しか滞在しないので、旭山で観察するには運と日の廻り合わせが必要。そして野鳥観察に重要なのが「続ける力」。



5月の野鳥トピックス

野鳥についての詳しい情報はホームページの野鳥情報をご覧ください。森の家までおたずねください。

★ムギマキ＝例年5月中旬に数日間だけ見られますが、今年は5月5日から10日以上滞在していました。(右写真 雄)

★マミチャジナイ＝例年より遅く5月6日初認。10日ほど見られました。

★マヒワ=5月中旬まで見られています。

★ヤブサメ＝笹藪にいる姿を見るコツはしゃがむことです。

★オオルリ＝今年も第2駐車場上とつり橋付近でときどき見られます。

★キビタキ＝今年も園内各所で姿が見られています。

★クマゲラ＝園内でしばしば見られています。



旭山記念公園見どころマップ2021年5月



公式サイト

「アカゲラ通信」 第91号 2021（令和3）年5月8日発行

(公財) 札幌市公園緑化協会 旭山記念公園管理事務所

<https://www.sapporo-park.or.jp/asahi-yama/> 〒064-0943 北海道札幌市中央区界川4丁目

電話 011-200-0311（金・土・日・祝日 10 時～16 時）FAX 011-200-0351